

仙台子ども体験プラザ・Elem(エリム)と
カタールフレンド基金



2011年3月11日の東日本大震災の直後、当時のカタール国首長シェイク・ハマド・ビン・ハリファ・アール・サーニ殿下は救援活動と被災者支援のため、日本に1億米ドルの義援金を贈ることを表明。のちにカタールフレンド基金(QFF)が設立されました。

QFFの目的は、東日本大震災の被災地復興を迅速に、効果的に、そして継続的にサポートすることです。そのため、重要かつ緊急性が高く、一時的ではない継続した支援を計画しているプロジェクトに対して2012年1月から2014年12月までの3年間にわたり、活動資金を支援しています。

支援を行う領域は「子どもたちの教育」「健康」「水産」「起業家支援」の4分野で、「子どもたちの教育」については、子どもたちに夢や目標を与え、未来を切り拓く力を育てることを大切に、子どもたちが知識や技術を身に付け、様々な経験を積めるようなプログラムへの、資金の助成を行っています。

その支援対象事業の公募に、公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本が代表提案者となり、仙台市及びいわき市が共同提案者として応募し、2012年11月に「スチューデントシティ・ファイナンスパーク事業」が採択されました。そして2014年8月に「仙台子ども体験プラザ・Elem(エリム)」がオープンしました。Elemとは、アラビア語で「教育」を意味し、カタール国から贈られた名称です。

URL: <http://www.qatarfriendsfund.org>

公益社団法人
ジュニア・アチーブメント日本



ジュニア・アチーブメントは、児童生徒が主体的に社会で自立できる力を育むための支援を提供する世界最大の経済教育団体です。

社会情勢がいかに変化しようとも、子どもたちが、「社会の仕組みや経済の働き」を正しく理解し、自分の確たる意志で道路選択・将来設計が行えるよう、主体的に社会で自立できる力を育むための様々なプログラムを展開しています。

URL: <http://www.ja-japan.org>

●ジュニア・アチーブメント日本のプログラムについて

ジュニア・アチーブメントが保有するプログラムは、青少年の経済教育活動支援のために「意思決定」「責任」「リーダーシップ」「コミュニケーション力」などといった、企業が有するリソースをメンバー企業から提供いただいています。

教室で行う授業とは違い、地域の様々な人々が共に子どもたちを育み合う活動として、多岐にわたる支援をいただいております。特にこの「スチューデントシティ」「ファイナンスパーク」も企業の実績が不可欠のプログラムであり、仙台市でも多くの企業の協力をいただくことができました。



仙台子ども体験プラザ・Elem(エリム)

〒980-8108
仙台市青葉区中央一丁目3番1号 AER6階
TEL 022-302-6058
FAX 022-225-9818

※仙台子ども体験プラザ・Elem(エリム)は、学校の授業で子どもたちが体験する施設です。一般利用は行ってあげません。

施設概要

- 施設面積 925,254㎡
- 主な施設の内容
 - ・スチューデントシティ 10ブース
 - ・ファイナンスパーク 12ブース
 - ・スタッフルーム 2
 - ・サーバーーム 1
 - ・事務室 1

カタールフレンド基金



仙台子ども体験プラザ



スチューデントシティ



ファイナンスパーク



「仙台子ども体験プラザ・Elem(エリム)」は、東日本大震災の被災地復興支援プロジェクト「カタールフレンド基金」による助成と協賛企業の協力をいただき、施設の中に「街」を再現した体験型の学習施設です。

この施設では、市内の小学校高学年と中学生を対象として、公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本が提供する体験型経済教育プログラム、「スチューデントシティ」及び「ファイナンスパーク」を「仙台自分づくり教育」の一環として実施します。

仙台市教育委員会

Student City®

スチューデントシティ

- ① 内容 プースに再現された店舗・事業所で働く体験等を通して、社会と自分との関わり、経済の仕組み、お金とは何か、仕事とは何かなどを学びます。
- ② 対象 市内の小・中学校 5、8年生（どちらの学年実施するかは学校で選択）
- ③ 全授業時数 15時間

学校で
事前学習 (8h)

スチューデントシティで
体験学習 (5h)

学校で
事後 (2h)

子どもたちは、学校での事前学習で、「仕事をする意味」や「仕事運びと会社の仕組み」、「価格やコスト、利益の関係」、「ビジネスプラン作り」「スチューデントシティへ行く準備」などを学習します。

スチューデントシティでは、事前学習で学んだことを生かし、社内会議、仕事、ショッピング、全体ミーティングなどの活動を行い、積極的に行動することや意思決定が大切なこと、社会は様々な仕事を通してつながっていることなどを、体験的に学んでいきます。

事後学習では、スチューデントシティで感じたことや分かったことをまとめ、将来の自分はどうかあったらいいのかについて考えます。



※写真は前日スチューデントシティでの活動の様子

- ① 仙台市役所
- ② ローソン
- ③ スーパースポーツゼビオ
- ④ NTT 東日本_東北
- ⑤ セコム
- ⑥ 河北新報社
- ⑦ 七十七銀行
- ⑧ オペレーションセンター
- ⑨ アイリスオーヤマ
- ⑩ ヤマト運輸
- ⑪ 東匠三全

スチューデントシティ



FINANCE Park®

ファイナンスパーク

- ① 内容 家族や収入など与えられた条件の中で、さまざまな商品やサービスの購入・契約などを体験し、よりよい生活設計について学習します。
- ② 対象 市内の中学生（どの学年で実施するかは学校で選択）
- ③ 全授業時数 10時間

学校で
事前学習 (3h)

ファイナンスパークで
体験学習 (6h)

学校で
事後 (1h)

子どもたちは、学校での事前学習で、「収入と支出のバランス」、「家庭におけるお金の使い道」、「賢い生活費の立て方」、「ファイナンスパークでの活動の準備」などを学習します。

ファイナンスパークでは、事前学習で学んだことを生かし、年齢や家族構成、年収などが割り振られた個人情報カードをもとに、各ブースから生活に必要な資料や情報を集め、実際に生活設計を行います。豊かな生活を送るためには、自らの意思で計画的に生活設計を行うことが大切なことを学びます。

事後学習では、ファイナンスパークでの学習を振り返り、将来の自分の進路や生き方について考えます。



※写真は前日ファイナンスパークでの活動の様子

ファイナンスパーク



- ① 大和証券
- ② ジブフルタ生命保険
- ③ 仙台青葉・泉カルチャーセンター
- ④ 和興レストワンまるまつ
- ⑤ MTG 宮城トヨタ
- ⑥ 三誠地研
- ⑦ 藤崎百貨店
- ⑧ 社の郵便局
- ⑨ JR 東日本
- ⑩ 市立病院、ガス局、水道局、東北電力
- ⑪ 清月記
- ⑫ au
- ⑬ カタール病院

— カタールフレンド基金